



みんなの広場

八潮といったらバスケット！

八潮市バスケットボール協会
理事長 江木克己

平成21年10月に「八潮市バスケットボール協会」が設立されました。遅きに失した感のある協会設立ですが、これで小学生（ミニ）から一般まで世代を超えた「バスケット大好き人間」たちの集う組織が八潮にでき上がったわけですね。

多くのクラブ連盟の方々に就任していただきました。そして、10月8日八潮高校において、八潮市体育協会の大山会長に出席をいただき、設立総会を行うことができました。

なお、11月1日・8日・15日と3週にわたり「ゆまにて」を中心に設立記念大会として「第1回市民バスケットボール大会」を開催し、熱戦を繰り広げた結果、男子は「M-BOYS」、女子は「STARS」が見事優勝を果たしました。

昨年6月に設立準備委員会を立ち上げ、趣旨説明を行い賛同をいただき、その後、準備委員会を幾度となく開催しました。同時に、これだけのチームが登録していただけなのが大変心配な点でしたが、クラブチームが男子19・女子7チーム、高校が男子・女子で4チーム、中学校が男子・女子で10チーム、小学生（ミニ）が男子・女子で14チームの登録となり、合計54チームの登録となりました。

協会のメンバーは、会長が森下ささん、副会長にはスポーツ少年団の神谷さんと中体連の井上さん、理事長にはミニバスケットボール連盟の私たちが、副理事長には高体連の荒井さんとミニバスケットボール連盟の小島さん、審判長にはクラブ連盟の佐藤さん、このほか常任理事、理事に



また、12月23日には、小学生と中学生が合同で「クリスマス杯」を行い、無事終了することができました。バスケットボール協会は、生まれたばかりの細い幹ですが、市民の皆さんのお力添えをいただきながら枝を伸ばし、しっかり根を張り、立派な大樹にしていきたいと思っております。さらに、バスケットをとおして社会貢献するとともに「八潮といったらバスケット」と言われるような街づくりのお手伝いができたらと思っています。

江木 克己
090・8515・3423

会場一体となって楽しみました



12月23日、やしお生涯学習館で「学習館びっくりクリスマス会」が盛大に開催されました。びっくりクリスマス会は、今年で14回目を迎える恒例のイベントですが、内容はやしお生涯学習館で活動する子育てサロンや子育てサークルのメンバーが中心となって企画されました。「赤鼻のトナカイ」をはじめクリスマスにちなんだ曲の演奏・歌唱、手遊び、パネルシアター、リトミック、人形劇など様々な催しに出演者と約120名の来場者が会場一体となって楽しみました。

大竹投手が大原中学校を訪問



プロ野球の広島東洋カープ大竹寛投手が、12月24日に母校の大原中学校を11年ぶりに訪問し、「ふれあい講演会」を行いました。生徒からの「野球を始めたきっかけは」「対戦した中で1番すごい左バッターは誰」などの質問に大竹投手は笑顔で答えていました。また、生徒とキャッチボールが行われて会場から大きな歓声が沸いていました。最後に、大竹投手は「中学時代、勉強に部活に頑張ってきたから今の自分があります。何かをつかむためには、続けることが大切です」と話していました。

今年の野菜の出来栄えは



12月6日、やしお生涯学習館で「第35回八潮市農業祭」が開催されました。毎年、山東菜を始め小松菜やほうれん草、ネギ、八ツ頭といった八潮産の新鮮野菜などが展示即売される農業祭。この日は、前日の冷たい雨も上がり暖かい日差しの中、お目当ての野菜を買い求めようと、早朝からたくさんの方が来場し賑わいました。また、今年は和楽太鼓の演奏や安全運転シュミレーション、山東菜の漬け方教室なども開催され、来場者は小さなお祭りを楽しんでいました。

美しい音色に耳を傾けました



12月14日、八條北小学校で社団法人日本三曲協会による和楽器の演奏会が行われました。「三曲」とは日本の音楽として最も普及している3種類の音楽の総称で、「箏」「三味線」「尺八」を指します。「さくら変奏曲」の演奏が始まると、美しい音色に児童たちが耳を傾けていました。最後に児童全員が、和楽器の演奏に合わせて、元気な歌声を披露しました。また、演奏会を記念して同協会から音楽教育の一助に「箏」が1面寄贈されました。

いきいきやしお写真館

この広報紙は、再生紙と大豆油インクを使用しています。

●広報やしおは、毎月1回、10日（新聞休刊日を除く）に新聞折り込みで配布しています。届いてない世帯の方は、最寄りの公共施設、金融機関、市内10カ所のコンビニエンスストア、八潮駅などでお受け取りになれます。なお、次回の新聞折り込みは、2月10日（水）です。